

2022 年度 全国通訳案内士試験
第 1 次試験（筆記試験）英語

本試験

解答・解説

100 満点中、70 点得点で合格圏内

※ 本試験問題は著作権で保護されているため、本解答・解説には本試験問題は一部引用部分を除いて掲載してありません。また、この解答・解説を使った授業においても、画面上に表示することはできません。お読みになる際、また、授業をお受けになる際には、皆様がお持ち帰りになった問題を手元にご用意ください。

解答一覽

- 1-1 ③
- 1-2 ④
- 1-3 ④
- 1-4 ②
- 1-5 ①、⑦ (順不同・完答)
- 1-6 ④、⑤ (順不同・完答)
- 1-7 ②
- 1-8 ③、⑥ (順不同・完答)
- 1-9 ①
- 1-10 ⑤
- 1-11 ②、③、⑤ (順不同)
- 1-12 ③
- 2-1 ③
- 2-2 ④
- 2-3 ②
- 2-4 ②
- 3-1 ④
- 3-2 ③
- 3-3 ②
- 3-4 ②
- 4-1 ①
- 4-2 ⑤
- 4-3 ③
- 4-4 ④

【難易度】

⇒ 全体的に中レベル。

【予想合格点】

⇒ ガイドライン通り 70 点か。

【問題傾向】

試験時間が 2021 年度以降それまでの 120 分から 90 分になっている。問題のサイズもそれに合わせて縮小され、現在では、大問 1 総合英文読解、大問 2 英文和訳、大問 3 和文英訳、大問 4 日本事情英作文という構成になっている。配点は、大問 1:40 点、大問 2:20 点 (4 題)、大問 3:20 点 (4 題)、大問 4:20 点 (4 題) とバランスの取れた構成になっている。

大問 1 は昨年、約 750 語の英文が出題され難易度が極めて高かったが、今回は約 500 語の読みやすい報道文である上、設問に奇問・難問の類は見られないのはよかったと思われる。大問 2 は例年通りで、細かい誤訳や訳落ちを見つけるのがポイント。時間さえかければ高得点が望める。大問 3 も文法・語法ミスを見つけるのがポイントだが、例年に比べ、選択肢間の差異が少ないため、比較しやすく解き易かった感がある。大問 4 は後で詳しく述べるが、「内容」が適切なだけでなく、「文法」も適切なものを選ぶように指示文が変更されている。改めて読んでみると、不正解の選択肢にはあちこち文法上問題がある部分が見られる。新傾向として配慮しておく必要があるだろう。

COVID-19の蔓延は日本の観光産業にとって最悪のタイミングで訪れた。

日本は、2020東京オリンピックに個人消費額の高い外国人が殺到すると期待を抱いていた。しかし、4年に1度のスポーツ祭典は1年延期され、現在、(2021年の)7月に、100万人と推計されていた外国人観客は誰一人いない状態で開催される予定だ。

一方で国内旅行は、3度目の緊急事態宣言、および、ますます多くの都市や都道府県で講じている数々の制限措置をもたらした、次から次にやってくるウィルス感染の波に打ちのめされて、航空産業や陸運業だけでなく、ホテル業や旅行業は致命的な打撃を受けている。

現在日本が、より感染力が強い新たな変異種や、景気回復を何年も遅らせる可能性が高いワクチン接種の遅れなどで、すさまじい第4波を抑え込もうと躍起になっている中、日本政府による成長戦略の柱と考えられている旅行セクターは、いつトンネルの出口を見ることができるとかと嘆いている。だが、トンネルの出口が見えた時、アフターコロナの旅行業界の景観はどのようになっているのだろうか。

「市場や消費動向は、危機の時期には混乱するものだが、長期的には、これらの変化は一時的なものに過ぎない」と旅行業界の研究フェローは述べている。

「一方で、危機が引き起こした傾向が主流にはなるものの、ほとんどの場合において、この破滅的な出来事に直面して、下地は築かれてきた」と彼は言う。

ソーシャルディスタンスが必要な時代に新しい旅行傾向が登場する中で、過去1年の間に登場した流行語にマイクロツーリズム、アウトドアツーリズム(アドベンチャーツーリズム)、ワーケーション、持続可能なツーリズムなどがある。

これらの旅行形態の一部、あるいは全てが今後何年も顧客に受け続けるかどうかについて述べるのは時期尚早だが、競争が激化するグローバル市場で日本が成功するためには、おもてなしの質を高めて顧客の消費と満足度を高めることが重要であると彼は言う。

「その意味で、マイクロツーリズムという概念がアフターコロナにおいてしっかり定着するかどうかは分からないものの、マイクロツーリズムは、旅行者と受け入れ先の双方の意識を変革する可能性を秘めている」と彼は述べている。

長距離の移動が好まれない中、コロナ感染の危険性を最小限に抑えつつ地域経済を活性化する手段として、自宅から1~2時間で行ける宿泊施設や観光地に人を誘致しようとするホテル関係者や地方自治体が増えている。

例えばキャンピングだが、ソロキャンピングや食事や快適な施設を完備した贅沢なテント宿泊を提供するグランピング(豪華なキャンピング)などの新しい様々な選択肢が導入されたおかげで、ここ数年の間に復活してきている。

釣りの売れ行きも好調であるし、海に出かける日本人が増えている中、ボート免許を取得する人の数は過去15年で最多になっている。

【出典】

New frontier: The future of tourism in Japan

<https://japantimes.co.jp/life/2021/05/03/travel/future-tourism-japan-covid-19/>

【傾向】

昨年の問題（約 750 語）と比べ約 500 語と英文が短くなり、また、昨年のような本文に書いていないことを問う奇問も見当たらない。レイアウトもゆったりで、解きやすかったと思われる。配点は昨年と同じ 40 点だが、ここでしっかり 7 割を超えておくことが重要。

1-1 ③

⇒ 下線部（ア）の **couldn't have come at a worse time** の解釈を求める問題。仮定法過去完了で、直訳すると「これより悪いタイミングで来ることはできなかっただろう」＝「最悪のタイミングでやって来た」の意味になる。

1-2 ④

A 第 1 文が東京 2020 への期待、第 2 文がその延期についてなので、第 1 文と逆接を作る副詞を選ぶ。③⑦ **though**、④⑧ **however** が合う。

B **any** が直後にあるので否定の意味の前置詞が入る。意味的には「100 万人と推計された外国人観客が一人もいなくて」となるべきで、④ **without** が合う。この段階で正解は④に決定。ただし、残りもきちんと確認。

C 第 1 段落はインバウンドの話、第 2 段落は国内旅行の話なので、「一方で」の意味の④ **Meanwhile** が合う。

D 前後に **wave** があるので慣用句を作っていると考え、**wave after wave** の形にするため④ **after** を選ぶ。

E 後ろに **by** ～があるので、直前の **a slew of restrictive measures** を修飾して「**by** ～によって〇〇された」の意味を作る後置形容詞か過去分詞を選ぶ。

④ **adopted**（採られた）が合う。①⑤ **adulatory** は「こびへつらうような」、②⑥ **adept** は「熟達した」、③⑦ **adapted** は「適合させた」の意味。

1-3 ④

F 「**the country** が **scrambling**（苦勞）している状況で」の意味になるように、付帯状況を表す③④ **with** を選ぶ。

G ③ **start**（開始）と④ **rollout**（運用開始）はどちらも可。ちなみに①⑧ **inoculation**（予防接種）、② **commencement**（開始）、⑦ **kick off**（開始）は可。⑤ **beginning** は不可、⑥ **inaugurate**（創始する）は品詞が動詞なので不可。

H lay the groundwork (下地を築く) の受動態・現在完了形なので lay の過去分詞形である④⑤ laid を選ぶ。ここで正解は④に決定。残りも確認。①⑧ lay は自動詞 lie (横たわる) の過去形。②⑦ lain は自動詞の lie (横たわる) の過去分詞形、③⑥ lied は他動詞の lie (嘘をつく) の過去分詞形。

I 「the buzzwords (流行語) となったものに、(主語の様々な) ツーリズムがある」という意味になる④ among が適切。

J 前後は、「競争が激化するグローバル市場で日本が〇〇するための the key」という意味なので、〇〇に合う④ thrive (成功する) が適切。

1-4 ②

⇒ strain は「(植物などの) 変種」の意味。ここでは新しい変異体のコロナウィルスを意味している。選択肢は②の variant (変異体) が正しい。① bacteria は「細菌」、③ transgenesis は「遺伝子組み換え」、④ streak は「一続き」、⑤ versatile cells は「万能細胞」の意味。

1-5 ①、⑦ (順不同・完答)

⇒ Collins COBUILD の辞書の light 項目にある定義説明の引用で、原文は When you talk about the light at the end of the tunnel, you are referring to the end of the difficult or unpleasant situation that you are in at the moment. である。下線部が空所なので、① unpleasant と⑦ difficult を選ぶ。

1-6 ④、⑤ (順不同・完答)

⇒ 引用符内の意味は、「市場や消費動向は、危機の時期には混乱するものだが、長期的には、これらの変化は一時的なものに過ぎない」となる。下線を引いた部分が指すのは、傍点部分で、選択肢④と⑤はこれを2つに分けて書いている。

1-7 ②

⇒ cataclysmic の基本語義は「大変動」の意味だが、Webster 英英辞書では、同義語に② devastating (壊滅的な) がある。他選択肢は、① apprehensive (不安な)、③ magnified (拡大された)、④ prior (先の)、⑤ triggered (誘発された)。

1-8 ③、⑥ (順不同・完答)

⇒ workation は、work と vacation を組み合わせた語なので、③ vacation と⑥ remote work を選ぶ。

1-9 ①

K 先行部分は「マイクロツーリズムには～の可能性がある」、後続部分は「定着するか分からない」となっており、文脈から逆接・対照を示す接続詞の、①② although、⑤⑥ though、⑦⑧ while が合う。

L 慣用句の **frown upon [on]** ~で「~に対してしかめ面をする」の意味。ここも付帯状況の **with** で、「長距離の移動が嫌がられる状況で」の意味を作る。①⑤ **upon** と⑧ **on** が残る。

M **as a means to do** ~の形で「do ~するための手段として」の意味。この意味では **means** は~s が付いた状態で、可算名詞単数・複数扱いとなる。⑤消去で①と⑧が残る。

N ① **for example** か⑧ **however** になるが、マイクロツーリズムからいきなりアウトドアの話になるのでやや飛躍的。マイクロツーリズムには確かにキャンピングカーで近場を訪れる旅も含まれるだろうが、厳密には、マイクロツーリズムの例としてキャンピングやフィッシング、ボートなどが出てくるのは不自然。実は直前の段落が8つカットされており、その最初の7段落まではマイクロツーリズムの話の続きだが、直前の8段落目は、**Meanwhile, outdoor recreational activities have been flourishing as people avoid crowded and cramped spaces and seek fresh air.** という内容になって、キャンピングの話へと続いていく。編集上やや問題。① **for example** と⑧ **however** でどちらが無理がないかと言えば、① **for example** となる。

O 残った選択肢①⑧はいずれも **those** なので判断不可。おそらく英語の経験値が高い方は、L の **frown** の段階で① **upon** の方を選ぶだろう。

1-10 ⑤

⇒ **both** が **travelers** と **the destinations** を修飾、**that accept them** は **the destination** のみを修飾し、「旅行者と受け入れ先の双方」という意味になることを理解する。①は「二人の」、②は「一変させた」(過去表現)、③「旅行者同士」、④は旅行者に触れていない点などが間違い。

1-11 ②、③、⑤ (順不同)

⇒ **Avoid the Three Cs** は「3密を避ける」の意味で、日本語では、密閉・密集・密接の3つで、② **closed spaces**、③ **crowded places**、⑤ **close-contact settings** に該当する。

1-12 ③

⇒ 第7段落の内容と合致。①延期の目的が外国人旅行者の流入のように書いている部分が誤り、②ワクチンへの期待は書かれていない。④「伝統工芸品の職人」は本文では **municipalities** (地方自治体)、⑤ **among the buzzwords** としか書かれておらず「両立しえない」とは言っていない。

わびさびの美的感覚の背後にある誘導的な力として茶の湯を観察すると、わびさびが発達した理由や、今日にも残るわびさびの概念を創り上げた人物をたちが明らかになるだろう。

(1) わびさびにとっての茶室は、キリスト教にとっての教会のようなものである。いずれも、それらの理想や哲学が大事にされているところで、目指すべき宗教的な目的にふさわしい雰囲気醸成している。教会においては、**God** が生んだ神々や **God** の子であるイエスキリストに対する尊敬の念がある。アーチ状の天井の内部や壮麗なステンドグラスの文様の中に、**God** の偉大さや全能性に対する賛美が見られる。茶室においては、飾り気のない素朴さ、すなわち、謙遜や簡素に関する最も控えめの表現に見出される偉大さに対する、穏やかな崇敬が見られる。

普通、閉ざされた緊密な茶室で行われる茶の湯は、わびさびの提唱者にとって中心の一つである。禅の哲学に精通した茶の巨匠たちが、わびさびの表現に富んだ美術への傾倒を声高に唱えたのは、茶の湯という半宗教的な儀式を通じてであった。

(2) わびさびの芸術と哲学がその基盤を強固にした茶の湯は、その起源を、達磨大師の頂相の前に集り、儀式の一環として茶を飲んだ禅僧による喫茶の習慣があった 12 世紀の中国にたどることができる。喫茶を楽しむことは、その指針となった哲学の禅同様、禅僧を通じて日本に入ってきたのである。

(3) 日本の貴族は茶に大きな関心を抱いており、茶が洗練された雰囲気の中で楽しむ文化的な飲み物としての地位を確立するまでにはそう時間はかからなかった。(4) 鎌倉時代を通じて、茶の湯の様式化が見られるようになり、喫茶に関する一定の決まりごとや作法が守られた。茶の湯は、禅の教えとともに広められ、茶の湯と禅という 2 つの文化は、お互いに関連し合って日本中で発達したのであった。

【出典】

Wabi Sabi: The Japanese Art Of Impermanence (by Andrew Juniper)

(<https://books.google.co.jp/books?id=objWAgAAQBAJ&pg=PT33&lpg=PT33&dq#v=onepage&q&f=false>)

【傾向】

英文は読みやすい。不正解の選択肢には明確な訳の違いや訳落ちが含まれているため、英文の句ごとに日本語と見比べて行けば容易に正答が見つかるはずである。以下では、前掲の全訳例と本試験選択肢を見比べていくが、全訳例、および、下の訳例では自然な日本語の範囲で直訳してある。そのため、問題の選択肢と内容が合致しているかに注目してほしい。

2-1 ③

【オリジナル訳】

⇒ わびさびにとっての茶室は、キリスト教にとっての教会のようなものである。

いずれも、それらの理想や哲学が大事にされているところで、目指すべき宗教的な目的にふさわしい雰囲気醸成している。

【③との比較】

⇒ 前半の A is to B what C is to D. は「B にとっての A は D にとっての C のようなものだ」の意味で正しい。enshrine (～が大事にされている) が「宿る」、the intended religious goals (目指すべき宗教的な目的) が「宗教が目指す到達点」、cultivate an atmosphere appropriate for (～にふさわしい雰囲気を醸成している) が「～にふさわしい空間を醸成している」と、ほぼ合致。

【他選択肢】

- ① 前半は合致しているが、最後の部分の意味が異なる。appropriate for ~ (～にふさわしい) の意味も入っていない。
- ② 前半の意味が異なっている。後半も全体的に適当な訳になっている。
- ④ 前半の意味が異なっている。後半の最終部分はキリスト教に限定している。

2-2 ④

【オリジナル訳】

⇒ わびさびの芸術と哲学がその基盤を強固にした茶の湯は、その起源を、達磨大師の頂相の前に集り、儀式の一環として茶を飲んだ禅僧による喫茶の習慣があった 12 世紀の中国にたどることができる。

【④との比較】

⇒ **the art of philosophy of wabi sabi cemented its foundations** (わびさびの芸術と哲学がその基盤を強固にした) は「侘び寂びの芸術と哲学がゆるぎない礎となっている」とほぼ合致。2 行目の **with** 以下を独立させて訳してある。**can trace its roots back to** (その起源を～ 12 世紀の中国にたどることができる) は「茶の湯の起源は 12 世紀の中国にさかのぼることができます」、**Zen monks who gathered before the image of Bodhidharma** (達磨大師の頂相の前に集り、儀式の一環として茶を飲んだ禅僧) が「禅僧達が菩提達磨像の前に集まり、…お茶を飲んだ」とほぼ合致

【他選択肢】

- ①「菩提達磨が座して儀式を始める前に」が異なる。
- ②「禅僧たちが菩提達磨の教えを頭に描きながら」が異なる。
- ③「侘び寂びの芸術と哲学の基礎となったのが茶の湯です」は説明が逆。「菩提達磨が座して儀式を始める前に」が異なる。

2-3 ②

【オリジナル訳】

⇒ 日本の貴族は茶に大きな関心を抱いており、茶が洗練された雰囲気の中で楽しむ文化的な飲み物としての地位を確立するまでにはそう時間はかからなかった。

【②との比較】

⇒ **took great interest in** (～に大きな関心を抱いており) は「～に大変興味を持ち」、**it was not too long before it established itself as...** (茶が…としての地位を確立するまでにはそう時間はかからなかった) は「程無くしてお茶は…としての地位を確固たるものとなりました」、**a cultured beverage to be enjoyed in a refined atmosphere** (洗練された雰囲気の中で楽しむ文化的な飲み物) は「洗練された雰囲気の中で楽しむ、文化の薫り高い飲み物) でほぼ合致。

【他選択肢】

- ①「地位を確立するまでにはかなりの年月を要したのでした」が異なる。
- ③「日本の貴族階級はお茶をめぐる利権を争い」、「大量栽培」、「限られた人々」などが異なる。
- ④「日本の貴族階級はお茶をめぐる利権を争い」、「大量栽培」、「狭い空間」などが異なる。

2-4 ②

【オリジナル訳】

⇒ 鎌倉時代を通じて、茶の湯の様式化が見られるようになり、喫茶に関する一定の決まりごとや作法が守られた。

【②との比較】

⇒ **Through the Kamakura period**（鎌倉時代を通じて）が「鎌倉時代には」、**the formalization of the tea ceremony began to emerge**（茶の湯の様式化が見られるようになり）が「御手前が整い始め」、**certain rules and etiquette surrounding its consumption were observed**（喫茶に関する一定の決まりごとや作法が守られた）が「一定の決まり事やお作法に則ってお茶を頂くようになりました」とほぼ一致。

【他選択肢】

- ①「鎌倉時代が終わり」、「公的に認めよう」、「お茶の消費が伸びる」、「一定の決まりやお作法が自然に生まれました」などが異なる。
- ③「お茶の消費が伸びるにつれて」、「一定の決まりやお作法が自然に生まれました」などが異なる。
- ④「鎌倉時代が終わり」、「公的に認めよう」、「お茶の消費拡大に関する決まり事」などが異なる。

【傾向】

基本的な文法・語法の間違いが設けてあるが、見抜くのは簡単であり紛らわしいものはない。

3-1 ④

⇒ responsible for ～と chores (雑用の意味では複数形) がポイント。

① responsible to chores は for とすべき。to prepare は for preparing とすべき。

② responsible to chore and prepare は responsible for chores and for preparing とすべき。

③ chore は複数にすべき。prepare は preparing とすべき。

3-2 ③

⇒ integral は「不可欠な」の意味。

① integrated は integral とすべき。tore down は torn down とすべき。

② integrated は integral とすべき。tore down は torn down とすべき。is being erected は has been erected とすべき。最終文は現在形の方がよい。

④ 第2文は現在完了形にすべき。現在形のままでは、for nearly 1,300 years の部分が、「1300年間そうする予定」の意味になる。第3文は現在形の方がよい。

3-3 ②

⇒ ～ protection の後は against、one of の後は定冠詞 + 複数形にする。

① intended to offering は to offer とすべき。protection の後は against とすべき。visiter は visitor が正しい。one of the famous の後は複数形にすべき。

③ intended to offering は to offer とすべき。protection の後は against とすべき。visiter は visitor が正しい。should think about not returning home は語順が不自然。one of the famous の後は複数形にすべき。

④ offer protect は offer protection とすべき。should think of not to return は言い回しが不自然。one of の後は定冠詞が必要。

3-4 ②

⇒ etiquette は不可算名詞。

① etiquette は複数形にできない。proper は properly の方がよい。

③ etiquette は複数形にできない。proper は properly の方がよい。

④ remain を除いて全体が過去形だが、現在のことを意味する文で、until などが導く条件を示す副詞節は現在形を用いる。

【傾向】

昨年の問題では、「次の用語を英語で説明する場合、最も適切なものはどれか。」となっていたが、文法・語法的に好ましくないものを消去しなければならないパターンもあった。本年度の試験では、「次の用語を英語で説明する場合、内容および文法に於いて最も適切なものはどれか」と、「文法」が加わっている点に注意。

4-1 ①

① 「ある地域に所在する複数の空き家や歴史的建造物を利用して、チェックインカウンター、客室、ダイニングルームなどの機能を異なる建物において提供し、町や村全体を一つの宿泊施設のようにする宿泊所の形態である。」

⇒ 分散型ホテルの説明そのまま。

② リゾートにあるホテルで、客室として使われるコテージが敷地全体に分散している。

⇒ コテージ型ホテル？ **and so on** が意味不明。**where** の後は、**cottages used as guest rooms are** とすべき。

③ 全国的なホテルのチェーンで、地方都市にあるものも含め多くのホテルを経営している。

⇒ アパホテルみたいなもの？

④ 一棟ごと貸し出される改築された古民家である。

⇒ **accommodation** は不可算名詞、あるいは複数形で用いるべき。

⑤ 温泉リゾートにあるような大型の旅館のように、複数の建物が渡り廊下によって連結された宿泊施設。

⇒ **inn** は複数にするか **as seen in** の後に **a** を補うべき。

4-2 ⑤

① 5月の5日に菖蒲の葉を浴槽に入れる特別な風呂のこと。日本語では発音が同じ「菖蒲」と「勝負」は二重の意味で用いられ、男子が逞しくなるように励ます意味がある。

⇒ **which** は **in which** とすべき。男子の逞しい成長を願う二重の意味は本来 **game** (勝負) ではなく、「尚武」(**martial spirit**) の方なのも問題。

② 5月5日のこどもの日のために菖蒲の葉を煎じて作られる特別な飲み物。邪気を追い払う匂いを出す。

⇒ 飲み物ではない。菖蒲湯が邪気を追い払う匂いを出すとされるのは事実だが、そんな臭気があるものは飲みたくはない。

③ 5月の5日に菖蒲の葉を煎じて作られる特別な飲み物。日本語では発音が同じ「菖蒲」と「勝負」を合わせて二重の意味にしたもので、この飲み物は男子が逞しくなるように励ます意味がある。

⇒ 飲み物ではない。後半は①のコメントと同じ。

④ 菖蒲の葉を加えたお風呂。薬草湯の一種で、特に冬に好まれる。

⇒ **especially** は文修飾はできないため、文頭に置かれることはない。冬も間違い。

⑤ 5月5日の子供の日のための特別な風呂で、その日には、邪気を払うために、菖蒲の葉を浴槽に入れる。

⇒ 消去法にて正解はこれしか残らない。菖蒲湯は端午の節句の習慣の一つ。本来、こどもの日と端午の節句は同じ日だが、別の行事であるため、この内容には問題がある。経緯は、こどもの日制定時に、3月3日（桃の節句）案と5月5日（端午の節句）案があったが、日本の北部では3月3日はまだ寒いので5月5日になったと伝えられている。同じ日になったものの、行事としては別で、国民の祝日に関する法律ではこどもの日の定義を、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」としている。そのため、本来、こどもの日の説明として、鯉幟や兜、菖蒲湯や柏餅などの端午の節句の説明をするのは正しくないと思われる。

4-3 ③

① 真言宗の開祖である空海にゆかりのある四国の六十六の霊場への巡礼へ行く人たち。

⇒ 八十八箇所が正しい。

② 天台宗の開祖である空海にゆかりのある四国の八十八の霊場への巡礼へ行く人たち。

⇒ 真言宗が正しい。

③ 真言宗の開祖である空海にゆかりのある四国の八十八の霊場への巡礼へ行く人たち。

⇒ 正しい。

④ 天台宗の開祖である最澄にゆかりのある四国の六十六の霊場への巡礼へ行く人たち。

⇒ 真言宗の開祖である空海、八十八箇所が正しい。

⑤ 天台宗の開祖である最澄にゆかりのある四国の八十八の霊場への巡礼へ行く人たち。

⇒ 真言宗の開祖である空海が正しい。

4-4 ④

① 塩漬けした桜の葉で餅をくるんだ伝統的な和菓子で、雛祭りの時期に食されることが多い。

⇒ 桜餅。

② 餡子が入った餅を柏の葉でくるんだ伝統的な和菓子で、菖蒲の節句（端午の節句）の時期に食することが多い。

⇒ 柏餅。端午の節句は菖蒲の節句とも呼ばれる。

③ 餅にきなこをまぶした伝統的な和菓子で、江戸時代には東海道の名物となった。

⇒ きなこ餅。東海道人気になったのは安倍川餅と呼ばれ、様々な種類がある。

④ おはぎとも呼ばれることがある伝統的な和菓子で、通年で食されるものの、先祖の墓参りをする春分・秋分を含む週に行われる仏教儀式（彼岸会）における大切なお供え物。

⇒ ぼた餅。漢字では牡丹餅で、牡丹は春の花であることから春の彼岸ではぼた餅、秋の彼岸では、秋の花の萩に見立てておはぎと呼ぶことがある。

⑤ 甘くした餅で餡子をくるんだ伝統的な和菓子で、最近では、様々な果物が入れてあるものが売っている。

⇒ 大福。



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 サンエスビル 2F

TEL 03-5291-1820 FAX 03-5291-1821

<https://www.cel-eigo.com>

授業教材および授業内容（音声・映像など）の著作権は全て CEL 英語ソリューションズ™に帰属します。
著作者の許可なしに複製・印刷を行うこと、および、教材や授業ビデオのダウンロード元 URL を第三者に伝達・
開示することを禁止します。